Atlas System

White Paper

目次

1. Executive summary. Atlas の概要

2. Atlas System とは

3. Atlas 誕生の背景：高利回りオンライン事業の課題

4. Atlas が提供するもの

5. Atlas エコシステムの中核 — Smart Cycle 2

6. Smart Cycle のライフサイクル

7. パートナープログラム

8. Atlas System — 自発的な相互資金支援プラットフォーム

9. ビジョン

1. Executive summary.
Atlas の概要

Executive summary.
Atlas の概要

Atlas System は、Smart Cycle の仕組み、スマートコントラクト、パートナープログラム、長期的な参加者コミュニティを中心とする、自発的な相互資金支援の国際 Web3 エコシステムです。

Atlas は銀行、預金、投資ファンド、取引会社、ICO、token sale、利回り保証商品ではありません。固定的な金銭的成果を約束せず、あらかじめ定めた期限内の資金返還義務を負いません。

Atlas の基本理念は、より誠実で理解しやすい参加モデルを市場に示すことです。非公開の取引、外部投資、隠された収益源の物語ではなく、仕組みを直接説明します。参加者は Smart Cycle を作成し、他の参加者に自発的な支援を行い、そのサイクルのルールに従って支援を受ける申請の機会を得ます。

Atlas の特徴は、理解しやすい経済的仕組み、検証可能な Web3 基盤、活発な国際コミュニティの三層を組み合わせる点です。参加者は見栄えのよい説明だけでなく、ルール、パラメータ、制限、リスク、データ源、自ら検証する方法も確認できる必要があります。

Atlas は、不透明なオンライン事業、短命な立ち上げ、大きな約束、直接的な証拠の欠如に疲れた人々のために作られています。すべてのリスクをなくそうとするものではありません。まず仕組みと試算を説明し、制限を開示したうえで本人が判断できるようにし、理解に基づく参加を目指します。

現在の製品中核は Smart Cycle 2 です。参加者は自分のウォレットを使い、プランを選び、BNB Smart Chain 上の取引に署名します。作成済みサイクルの条件はスマートコントラクトが定めます。第1サイクルは終了し、文書とパラメータは別のアーカイブに保存されています。Atlas は新サイクル、パートナーツール、教育、コミュニティの決定を通じて発展を続けます。

1.2 金銭的な可能性
（Smart Cycle の収益試算）

Smart Cycle の金銭的な可能性は試算 Delta で表します。選択したサイクルで考えられるシナリオを理解する指標であり、保証利益、固定収入、システムの義務ではありません。

Atlas には2種類の Smart Cycle があります。選択期間の終了時に参加元本と試算 Delta を受け取るものと、参加期間を通じて日次で計算されるものです。

第1のモデルは Lockup Flow です。参加者がプラン、金額、期間を決め、終了時の参加元本と試算 Delta を示します。第2の Daily Flow では、日次計算の仕組みと全期間の試算シナリオを確認できます。

プランと想定キャッシュフローの概要：

サイクル種類	プラン	期間	金額	Delta	支払例
Lockup Flow	Contract Test	5 分	10 USDT	0%	10 USDT
Lockup Flow	Momentum	5 日	10 USDT から	2%	1 020 USDT
Lockup Flow	Confident	10 日	10 USDT から	5%	1 050 USDT
Lockup Flow	Trust	20 日	10 USDT から	12%	1 120 USDT
Lockup Flow	Premiere	30 日	10 USDT から	21%	1 210 USDT
Lockup Flow	President	40 日	10 USDT から	32%	1 320 USDT
Lockup Flow	Imperium	50 日	10 USDT から	45%	1 450 USDT
Lockup Flow	Marshal	60 日	10 USDT から	60%	1 600 USDT
Daily Flow	Core	200 日	10 USDT から	1サイクルで140%	1日12 USDT、 合計2 400 USDT

Daily Flow Core：1日1,2%、200日間。そのうち0,5%が元本返還、0,7%がDeltaです。全体試算は240% = 参加額100% + Delta 140%。Contract Testは1ウォレット1回、金額は正確に10 USDTです。Testを除き、支払例はサイクル額1 000 USDTで計算しています。

Premiereの例：サイクル額1 000 USDT、期間30日、Delta 210 USDT、試算支払額1 210 USDT。参加時に6%をプラットフォーム、2%を基金に配分し、記録されるサイクル額はgrossと同額です。Deltaから追加手数料は徴収しません。Gasは別途負担します。

参加結果は各Smart Cycleのルール、コントラクト状態、利用可能な流動性、参加者の活動、ネットワーク手数料、利用者の操作の正確さ、その他文書に示す要因によって異なります。支援申請の実行条件が十分でなければ、期待した結果が得られない、または実行が遅れる場合があります。

そのためAtlasは金銭的な魅力と保証を区別します。試算上の可能性、サイクル表、Delta例、参加シナリオを示すことはできますが、各例には「結果は保証されず、参加は自発的で、判断は利用者本人が行う」と明示する必要があります。

この姿勢により仕組みを誠実に説明できます。参加者は潜在的な利点と、それが依存する条件の両方を見られます。Atlasは、Smart Cycleに流動性の循環とコミュニティ活動が必要なことを隠しません。試算Deltaは外部取引、会社の約束、魔法の収益ではなく、サイクルのルールとシステム内のその後の資金循環に基づきます。



1.3 パートナープログラムの展望

AtlasのパートナープログラムInvite & Earnはコミュニティを成長させる仕組みです。参加者は人を招待し、自分の組織を築き、公開ルールに従ってチームの活動による報酬を得ることができます。

パートナーボーナスは入金全額ではなく、組織内の該当サイクルのDeltaに基づきます。率は資格によりStartの10%からTop Leader 3の70%まで。基本ボーナスは率の正の差に基づき組織上位へ配分します。

報酬の計上と支払はSmart Cycle 2のロジックが定めます。MatchingはMaster 1から利用でき、条件を満たす場合に直接招待した参加者のパートナー収入から計算します。ランク自体が無条件支払を意味するわけではありません。詳細はパートナープログラム規則を参照してください。

ステータス	個人有効ボリューム	第1階層	深部ボリューム	Deltaボーナス	Matching bonus
Start	10	不要	不要	10	–
Builder 1	50	100	不要	12	–
Builder 2	100	300	1 000	14	–
Builder 3	200	700	2 000	16	–
Builder 4	300	1 200	4 000	18	–
Builder 5	500	2 000	7 000	20	–
Builder 6	700	3 000	12 000	22	–
Master 1	1 000	4 500	18 000	24,5	1
Master 2	1 500	7 000	28 000	27	3
Master 3	2 000	10 000	40 000	29,5	5
Master 4	2 500	13 000	60 000	32	7
Master 5	3 000	17 000	85 000	34,5	9
Master 6	4 000	25 000	120 000	37	11
Architect 1	5 000	35 000	200 000	40	14
Architect 2	6 000	45 000	300 000	43	17
Architect 3	7 000	60 000	450 000	46	20
Architect 4	8 000	80 000	600 000	49	23
Architect 5	10 000	100 000	800 000	52	26
Architect 6	12 000	120 000	1 100 000	55	29
Top Leader 1	15 000	150 000	1 500 000	60	33
Top Leader 2	20 000	200 000	2 000 000	65	37
Top Leader 3	30 000	300 000	3 000 000	70	41

Smart Cycle 2には22ステータスがあります：Start、Builder 1–6、Master 1–6、Architect 1–6、Top Leader 1–3。資格は個人有効ボリューム、第1階層、組織ボリュームに基づきます。MatchingはMaster 1からです。

Atlasには圧縮の仕組みもあります。実際のステータスとチーム育成への貢献に応じ、活動中の参加者に報酬を計上するためです。下位パートナーの率が低い場合、上位は自分の率との差を受け取れます。下位が招待者と同じか上のステータスに達すると、規則に従い自ら高い率を適用できます。単に上位にいる人ではなく、組織を築きチームを育て高いステータスを得た人が多く稼げるため、より公平なモデルと考えられます。

資格認定でのLockup Flow算入率：個人と1–3階層100%、4–6階層60%、7–10階層40%、11–20階層20%、21階層以降5%。Daily Flow Coreはその半分です。有効なサイクルのみを数え、Contract Testは除外します。

Atlasのパートナー組織はエコシステム共通です。一度招待された参加者は組織に紐づき、公開ルールに従って将来の製品やプログラムでも算入される場合があります。個人アカウントには第1階層、組織の深さ、現在のステータス、活動ボリューム、計上報酬が表示されます。

パートナープログラムはサイクル間のコミュニティ維持と成長を支えます。Smart Cycle 1は終了し、Smart Cycle 2の現行条件と資格は別途公開されています。新サイクルへの参加は過去の損失の自動補償を保証しません。

パートナープログラムは給与、不労所得、投資保証、固定報酬の約束ではありません。報酬は公開ルール、ステータス、組織活動、データの正確性、技術条件、システム制限、コミュニケーション規則の順守に依存します。優れたAtlasパートナーは機会とリスクの両方を説明します。

AtlasはSmart Cycleの計算の仕組み、Web3での検証可能性、パートナー基盤を一つのエコシステムにまとめます。意義は単独のサイクルや立ち上げにとどまりません。参加者がルールを理解し、リーダーがチームを維持し、デジタル相互支援の理念を中心にコミュニティが成長します。

2. Atlas System とは

2.1 Atlas Systemとは：Web3分類とアーキテクチャモデル

Atlas SystemはBNB Smart Chain上に構築されたハイブリッドWeb3 dAppです。DeFi要素、Smart Cycleのオンチェーンの仕組み、コミュニティ主導モデルを備えます。

この分類は製品と技術の観点からAtlas Systemを説明し、実際の構成をDeFi、DAO、完全な分散化といった広い概念から区別します。

分類の概要

カテゴリー	Atlas Systemの位置づけ	説明
Web3 application	はい	Web3ウォレット、BNB Smart Chain、スマートコントラクトを使用。
dApp	はい、hybrid dApp	利用者操作とSmart Cycleロジックの一部はオンチェーンで実行。
Fully decentralized dApp	いいえ	バックエンド要素と管理業務が存在。
DeFi	一部	スマートコントラクトで実行する金融的仕組みを含む。
Fully decentralized DeFi protocol	いいえ	一部機能はオフチェーン、または権限を持つ運営者に依存。
DAO	いいえ	管理と主要パラメータは完全に分散型投票へ移管されていない。
Community-driven platform	はい	コミュニティとパートナーネットワークが発展に参加。
Architecture	Onchain + offchain	コントラクトによる実行とバックエンド基盤の組み合わせ。

Atlas SystemがdAppである理由

Atlasは、利用者がWeb3ウォレットとBNB Smart Chain上の公開スマートコントラクトを通じてシステムに接するため、dAppに分類されます。

- **利用者が自分のWeb3ウォレットを接続し、自ら取引を承認**
- **Smart Cycleが本番コントラクトのロジックに従いオンチェーンorderを作成**
- **アドレス、取引、イベントをブロックチェーンエクスプローラーで検証可能**

Atlas Systemは完全分散型アプリではなくhybrid dAppと分類するのが適切です。コントラクトは重要な部分ですが、全機能がブロックチェーンだけで動くわけではありません。

2.2 DeFi要素と構成上の境界

備えているDeFi要素

Atlasはデジタル資産の一部操作をスマートコントラクトで実行し、利用者が自分のWeb3ウォレットとオンチェーン取引を使うため、DeFi要素を備えています。

- ウォレットによる製品アクセス
- コントラクトを介したデジタル資産操作
- Smart Cycle orderの作成
- コントラクトによるパラメータと状態の記録
- コントラクト所定の場合に利用者がClaimを開始
- 取引の公開検証と公開本番アドレス
- Smart Cycleの構成で定める部分にブロックチェーン流動性基盤を使用

Atlasが完全分散型DeFiプロトコルではない理由

Atlasの構成はハイブリッドです。オンチェーンの仕組みに加え、オフチェーン機能とチームの運用責任が残ります。

- サイト、分析、通知、サポートはブロックチェーン外で稼働
- バックエンドがコントラクトのイベントを索引化し照合を実施
- 招待者の紐づけとパートナー計算はSmart Cycle 2コードに実装
- managerの新規サイクル受入権限は限定的

最も正確な分類：Hybrid Web3 dApp with DeFi components、**または**DeFi-adjacent Web3 application。

オンチェーンとオフチェーンの境界

Onchain	Offchain
SC2サイクルとパートナー計算	インターフェースと組織表示
ウォレットによるorder作成	イベント索引化と照合
コントラクト検証とClaim	分析・サービス機能
ブロックチェーンのイベントと取引	通知と参考資料
公開アドレスと残高	コミュニティと運用サポート

Smart Cycle 2の操作はブロックチェーンを根拠に検証します。サイトと索引サービスはデータを表示し取引準備を支援します。招待者の紐づけとパートナー計算はコントラクトに実装され、旧Transport / Distribute方式はSC2に適用されません。

2.3 管理権限とDAOの位置づけ

管理権限と信頼の境界

Smart Cycle 2の最終コードには、固定アドレスの任意変更、LP-NFTの移転、外部へのNFT承認、管理者による資金引出しの関数はありません。Managerはコードの範囲内で新規サイクルを受け入れます。この権限で既存サイクルのclaimを停止することはできません。

実際の権限は本番コントラクトごとに以下で開示する必要があります：

- Contract Registryと公開アドレス
- verified source code
- ownerとその他管理役割の説明
- proxyとupgradeabilityの状態
- 該当するadmin、multisig、timelockの方針
- 変更履歴とSecurity Review結果

Atlas SystemがDAOではない理由

Atlas Systemはコミュニティ主導モデルを採用し、個別の決定にDAOを参考にしたガバナンスを用いる場合があります。ただしコミュニティ、パートナープログラム、一部の投票があるだけでシステム全体がDAOになるわけではありません。

- サイト、サポート、運用工程は引き続きチームの責任
- 投票でSC2流動性の任意引出権限は得られない
- manager権限は実行されるSC2コードで制限
- コミュニティ投票はチームの技術・製品責任に代わらない

DAOを参考にした仕組みは、将来のSmart Cycle、開発方向、コミュニティの優先事項、個別の将来施策の投票に使えます。作成済みSmart Cycleの条件を遡って変更したり、Atlas全要素の管理を自動的にコミュニティへ移したりするものではありません。

Atlas Systemはコミュニティ主導のWeb3エコシステムで、一部にDAOを参考にしたガバナンスを採用できますが、現行版は完全分散型DAOではありません。

2.4 分類のまとめ

AtlasはBNB Smart Chain上のハイブリッドWeb3 dAppで、以下を組み合わせます：

- 利用者向けWeb3インターフェース
- 自分のウォレットの接続
- Smart Cycleのオンチェーン機構
- DeFi要素
- 公開検証可能なスマートコントラクト
- オフチェーンの画面、分析、サポート
- コミュニティ主導モデル
- Atlasチームによる運用・技術管理

AtlasはDeFi要素を持ちますが、完全分散型DeFiプロトコルを標榜しません。コミュニティやDAOを参考にした仕組みを使いますが、完全なDAOを標榜しません。

> Atlas is a hybrid Web3 dApp with DeFi components, onchain Smart Cycle mechanics, and a community-driven model built on BNB Smart Chain.

構成、管理権限、本番コントラクトの詳細はAtlas Contract Registry、Security Review、および別文書Atlas Web3 Architecture & Product Classificationに記載します。

> 本節はAtlasの製品・技術分類であり、独立した法的・規制上の見解ではありません。

2.5 Atlas用語集（概要）

White Paperを読むための基本用語のみを示します。詳しい技術的定義は各該当節を参照してください。

SMART CYCLE — プラン、金額、作成時刻を含む参加記録。

CYCLE ID — SC2コントラクト内のサイクル識別子。

GROSS / PRINCIPAL — 入金全額とサイクルの計算基礎。手数料配分でprincipalは減りません。

DELTA — プラン規則による追加試算額。保証ではありません。

CLAIM — 利用可能な支払を受け取る関数の呼出し。

ABI — コントラクトの関数、引数、イベントの記述。

LOCKUP FLOW / DAILY FLOW — 単一Smart Cycle 2コントラクトのモード。

PLATFORM FEE — 主要プランの入金額の6%。別途2%を第1サイクル補償基金に配分。

TREASURY — プラットフォーム手数料の受取先。

MANAGER — 新規サイクル受入に限定的な権限を持つアドレス。

LP-NFT — PancakeSwap V3流動性ポジション№7682306。所有者はSC2コントラクト。

SC1 ARCHIVE — 第1サイクルの過去の条件。

用語は計算・技術モデルを示すもので、DeltaやClaimを保証支払に変えるものではありません。

3. Atlas 誕生の背景：高利回りオンライン事業の課題

3.1 課題№1：オンライン事業への信頼危機

高利回りオンライン事業の市場は深刻な信頼危機にあります。事業の寿命は短くなり、新規案件と大きな約束は増える一方、実証、透明な仕組み、明確なルールが不足しがちです。実際の構成より外観が立派な事業に、参加者はますます遭遇しています。

近年この市場では悪いシナリオが繰り返されてきました。国や言語が違っても、新会社、有力な話し手、豪華なイメージ、自信に満ちた説明が現れ、市場状況に関係なく利益を生むという合法的手段、取引、ファンド、投資などをうたう光景は似ています。

しかし実際には、持続可能な経済モデルがない話も多くありました。資金は説明された事業で運用されず、独立した外部収益を生まず、明確で検証可能な根拠もありませんでした。新規参加者の流入が枯れるまで、資金が参加者間で再配分されるだけでした。

多くの事業は、サイト、個人画面、公開イベント、文書、支払、報告、活発なチャット、著名人、成功談、説明会、合法性の主張で強い外観を示します。それにより、明確な義務を持つ信頼できる会社、投資商品、取引事業、ファンド、技術基盤、金融サービスだという印象が生まれます。

ただし根本問題はより深い所にあります。外観と実際の仕組みが一致しない場合があります。人はモデル、支払原資、リスク、制限、終了条件を理解したからではなく、作られた信頼性のイメージを信じて決断してしまいます。

その事業が停止し、支払を遅らせ、ルールを変え、閉鎖すると、人は資金を失っただけでなく騙されたと感じます。商品の本質、保護、主催者の責任を別のものと期待していたからです。信じていたのは実際のルールではなく事業の周囲に作られたイメージでした。

こうして不信は個別事業だけでなく市場全体に広がります。技術、公開ルール、検証可能な構成を備えた新モデルにも、参加者は過去の失望を重ねます。「いくら得られるか」だけでなく、「実際に何が起き、検証できるのか、期待どおりにならなければどうなるか」をまず尋ねます。

信頼危機には複数の要因があります：

- 実際の仕組みの不透明さ
- 資金移動を検証できないこと
- 参加者が管理者の手動判断に依存
- 非公開の金融モデル
- 事業イメージと実際の動作の乖離
- ルール理解ではなく宣伝が作った過大な期待
- 試算結果の発生源と実現しない条件の直接的な説明不足

保証された利益をうたう言葉は特に信頼を損ないます。実際のモデルを開示せずに安定利回り、不労所得、取引利益、信頼できるファンド、元本保証を語ると、参加者の理解は歪みます。実際のリスクが大きくても、保護された金融商品と受け止めてしまいます。

保護されているという誤った安心感も問題です。法的文書、公開スピーカー、大規模イベント、高価なデザイン、活発なコミュニティを見ると、検証済みで安全に管理されていると判断しがちです。しかし外見上の規模だけではモデルの持続性、実際の支払原資、期待に応える能力は証明できません。

安全性を強くうたった後の破綻は、特に重い影響を残します。人は金銭を失うだけでなく、物語、説明、約束、リーダーの地位、公開された証拠、自信ある雰囲気という全体の演出に惑わされたと感じます。不信は主催者からオンライン事業全体に広がります。

破綻のたび、市場には閉じたサイト、消えたチャット、調査、苦情、崩れたチーム、優れた理念さえ信じられなくなった参加者が残ります。一部の大手リーダーは利益を得ることもありますが、多くの人は資金、信頼、新事業を理解しようとする意欲を失います。

近年この流れは速まっています。かつて数年存続できた会社が数か月で終わる例が増え、弱い個別事業だけの問題には見えません。古い形式は信頼を維持できず、明確な新モデルもまだ一般化していないという、手法自体の危機です。

結果として市場は不健全な状態になります。人々は機会を求めながら説明を信じず、魅力的な数字に詐欺を疑います。技術、合法性、コミュニティという言葉からも、同じ言葉の裏に不透明なルールと失望があった過去を思い出します。

3.2 課題№2：リーダー資産の喪失

市場の第2の大きな問題は資金だけでなくチームの喪失です。高利回り事業に有力リーダーが単独で来ることはほぼありません。組織、個人の評判、人々の信頼、地域チャット、教材、ウェビナー、積極的な協力者、チーム内の他のリーダーを連れてきます。

チームは数日では生まれません。リーダーは数か月や数年かけて理念を説明し、質問に答え、新人を教え、参加者を支え、グループ間の交流を築き、未熟なパートナーの成長を助け、生きたコミュニティを形成します。

ところが多くの高利回り事業では、この努力が一つの短いライフサイクルに縛られます。成長中は参加者が増え、チャットが活発で、会合と組織拡大が進みます。しかし閉鎖、支払遅延、関心の低下が起きると、その構造全体が崩れ始めます。

リーダー経由の参加者は、事業と招待者の責任を分けて考えないことが多くあります。彼らにとってリーダーが事業の顔です。資金を失うと、「なぜ誘ったのか、信じたのか、警告しなかったのか、あなたのせいだ」とリーダーに不満を向けます。

リーダーは現在の収入だけでなく、信頼、評判、チームの一部、次の機会を落ち着いて語れる道義的な立場を失います。運営、資金管理、ルール作成、管理判断に関わっていなくても、信頼への打撃を受けるのはリーダーです。

閉鎖後、リーダーは厳しい状況に置かれます。新事業を探し、条件を学び直し、説明を作り直し、人を説得し、疑念に答え、組織を再構築しなければなりません。旧チームには失望した人、別のリーダーへ移った人、何も信じない人、過去の損失を公然と非難する人がいます。

新事業、新説明、新画面、新チーム、新たな成長、そして再び組織崩壊のリスクという循環が生まれます。繰り返すほどリーダーは信頼を保ちにくくなり、チームも次の機会を真剣に受け止めにくくなります。

MLM事業者にとって、これは特に深刻です。チームはリーダーの主要資産ですが、旧モデルでは事業ごとにその資産が失われます。数百・数千人の組織を築き、有力パートナーを育て、内部交流を整えても、チームが依存するプラットフォームの閉鎖で努力の大半を失いかねません。

市場が疲れているのは損失だけでなく、コミュニティが繰り返し壊れることです。人々は事業間の移動に、リーダーはゼロからの再出発に、チームは毎回信じ直し、登録し直し、学び直し、他者の閉鎖の影響を受けることに疲れています。

一時的な事業一つを中心にチームを築く限り、リーダー資産は極めて脆弱です。リーダーの力量やコミュニティの質ではなく、次の基盤がどれだけ続くかに左右されます。基盤の終了とともに、その存続中に築いた組織も終わる場合が多いのです。

4. Atlas が提供するもの

4.1 課題№1への解決策

信頼危機へのAtlasの答えは、新たな美しい物語ではなく、実際のシステムを公開して説明することです。説明会、リーダーの地位、Web3の大言壮語、安全そうな外観だけで説得すべきではありません。参加者は仕組み、試算、制限、リスクを理解してから自分で判断すべきです。

Atlasは正直な枠組みを示します。銀行、預金、投資ファンド、取引会社、収入保証商品ではありません。Smart Cycle、コントラクト、画面、公開文書、パートナー基盤を介して参加者が関わる、自発的な相互資金支援のWeb3エコシステムです。

非公開取引、ファンド、外部事業、抽象的な利回りの話ではなく、Atlasは理解できる仕組みに重点を置きます。Smart Cycleとは何か、Delta試算の成り立ち、Claimの条件、保証されない理由、流動性の役割、検証できる操作、運用管理が残る領域を説明します。

不透明さに疲れた市場にこの姿勢は重要です。画面の魅力的な数字の由来と実行条件が分からなければ信頼は弱いままです。Atlasは、ルール、試算例、リスク告知、利用者の行動という順に置き換えることを目指します。

信頼課題を解決する主な要素：

- **Smart Cycleの仕組みの公開説明**
- **試算上の可能性と保証結果の区別**
- **銀行、預金、ファンド、取引利益という表現を使わない**
- **参加前のリスク開示**
- **オンチェーン部分とオフチェーン部分の説明**
- **該当箇所でコントラクトと公開検証を使用**
- **口約束や宣伝資料より優先される統一文書**

Atlasは、スマートコントラクトがあるだけですべてのリスクがなくなるとは主張しません。完全な無リスク化、流動性の保証、利用者のミス防止、ルール学習の不要化を実現するものではありません。ただし一部操作の検証を容易にし、言葉だけへの依存を減らせます。

そのため正確な説明が重要です。Smart Cycle 2のサイクルとパートナー計算はコントラクトに実装されています。画面、分析、支援はブロックチェーン外で動きます。manager権限はコードに制限され文書で開示されます。支払の実行可能性はサイクル条件と利用可能な流動性によります。

Atlasが市場に示すのは新たな物語ではなく、高リスクのオンラインモデルを透明に説明する方法です。従来型金融商品に見せかけず、利回りを保証せず、架空の収益源を作らず、主要な制限を隠しません。

4.2 課題№2への解決策

Atlasは連続するSmart Cycleのエコシステムとして発展します。第1サイクルは終了し、現在の中核はSmart Cycle 2です。次の版は現段階の成果と経験を考慮し、その条件と時期は別途公開します。

旧モデルでは閉鎖が通常、欺瞞とすべての終わりとして受け止められます。長く続く会社、どこかで稼ぐ資金、安全なモデル、最小限のリスクと説明されたのに停止すると、参加者は騙されたと感じ、リーダーはチームの信頼を失います。

Atlasは別の枠組みを示します。個々のSmart Cycleには限られた寿命があり、開始、成長、活動期、減速、終了があり得ると事前に伝えます。これは隠れた欠陥ではなく正直なモデル説明の一部です。参加者は、結果がサイクル規則、流動性、参加者活動、選択した戦略に依存する、自発的な相互資金支援の再配分システムに加わると理解できます。

したがってSmart Cycle 1の終了はAtlas全体の終了ではありません。第1サイクルは最初の製品を提供し、データを集め、参加行動を示し、仕組みの長短を明らかにし、次版の基礎を作りました。この考え方でSmart Cycle 2は場当たり的な代替ではなくAtlas発展の次段階です。

参加者の受け止め方も変わります。有限性、保証の欠如、遅い参加ほど高いリスクを事前に知れば、終了を突然の裏切りと捉えにくくなります。結果に失望しても仕組みは参加前に開示されています。次のサイクルを学び、新条件を比べ、金額、期間、戦略を変える、または参加しない選択肢が残ります。

リーダーにはサイクル間もチームが成長できることが重要です。学んだパートナー、資料、地域コミュニティ、経験の価値は残ります。ただしSmart Cycle 2への参加には独自のルールと条件を学ぶ必要があります。

Smart Cycle 1で損失が出たことを、Smart Cycle 2での自動補償の約束として示してはなりません。ただしエコシステムでは、次のサイクルを学び、更新条件を評価し、リスクを調整し、早めにまたは慎重に参加し、前段階の経験を生かして新しい版で結果の改善を目指すという、理解したうえでの新たな選択ができます。

リーダー資産喪失への主な解決要素：

- Atlasは一つのSmart Cycleより広い
- 各サイクルを有限の製品段階と事前説明
- Smart Cycle 1の終了は全体の終わりではなくSmart Cycle 2などへの移行
- 再配分モデルで保証がないことを事前に理解
- リーダー組織、教育、交流がサイクル間に残る
- 新サイクルに過去版の経験を反映可能
- 終了を突然の欺瞞と捉える代わりに新戦略を選択可能
- プログラム、文書、ウェビナー、知識ベースが同一エコシステム内での活動継続を支援

このモデルではパートナープログラムは単なる勧誘手段ではなく、コミュニティ維持・成長の基盤です。参加者がルールを理解し、画面の前で孤立せず、リスクを学び、ウォレットを正しく使い、操作を検証し、試算と保証を区別する助けとなります。

統一された公開説明によってリーダーの負担も減らします。独自に仕組みの説明を作ったり規則にないことを約束したりする必要はありません。White Paper、Smart Cycle Rules、FAQ、Risk Disclosure、Transparency Centerなど参照できる公式資料を用意すべきです。

適切な伝達の責任は免除されません。むしろAtlasは成熟した紹介を求め、招待者は機会だけでなく制限も説明すべきです。ルールが公開され、リスクが示され、仕組みが全員に同じように説明されれば、伝達はより誠実で安定したものになります。

Atlasは発展段階の間でコミュニティを維持することを目指します。第1サイクルは終了し、Smart Cycle 2は独自のコントラクトと公開ルールを使います。知識、人脈、経験は新条件の評価に役立ちますが、結果の保証ではありません。

5. Atlas エコシステムの中核 — Smart Cycle 2

5.1 Smart Cycleとは

Smart CycleはAtlas Systemのプログラム可能な相互支援サイクルです。参加者が条件を選びシステムを支援すると、オンチェーンorderを取得します。条件が整えばClaimを開始し、提供した支援と生じ得る試算Deltaを請求できます。

金銭的な仕組みは3つの動作を中心にします。参加者がサイクルを作り、システムが条件をコントラクトに記録し、参加者が選んだflowの規則に従います。条件を満たしてClaimが可能なら、そのサイクルで計算された金額の受取を申請できます。

Smart Cycle 2ではLockup FlowとDaily Flowが一つのコントラクトで動きます。金額、プラン、期間、試算Delta、サイクル状態、招待者の紐づけを記録します。サイトと索引サービスがデータを表示し、操作と結果はブロックチェーンで検証できます。

Smart Cycleは銀行預金、預託、投資商品、固定利回り保証ではなく、自発的な相互資金支援のデジタルサイクルです。Claimの可否と結果は選択条件、流動性、コントラクト、ネットワーク、基盤の状態、利用者自身の操作に依存します。

本節では現行Smart Cycle 2の条件、アドレス、役割、LPポジション、最終ABIでの呼出しを説明します。第1サイクルの過去文書は別のアーカイブです。旧契約のメソッドやアドレスはSC2の新規サイクル作成には使いません。



5.2 Smart Cycle 2のパラメータ

項目	値	注記
製品中核	Smart Cycle 2	一つのコントラクトにLockup FlowとDaily Flow
Network	BNB Smart Chain	BNB Smart Chain, Chain ID 56
決済トークン	USDT BEP-20	USDT、小数点以下18桁
USDT contract	0x55d398326f99059fF775485246999027B3197955	BNB Smart Chain上のUSDT BEP-20 contract
最低参加額	10 USDT	Contract Testは正確に10 USDT、他のプランは制限内
Treasury · 6%	0x5F0411975A5500dBC465cceE16dEa1C7b93440f7	参加時のプラットフォーム手数料受取先
Platform fee	grossの6%	別途grossの2%を基金へ。Delta手数料なし
Base pool	0x92b7807bF19b7DDdf89b706143896d05228f3121	PancakeSwap V3 USDT/USDC; fee tier 0.01%
LP NFT · 7682306	0x7E7BeDfcea906A1feF682ecb4e316F6bD87587E3	所有者はSmart Cycle 2コントラクト
Position Manager	0x46A15B0b27311cedF172AB29E4f4766fbE7F4364	PancakeSwap V3 Nonfungible Position Manager
Smart Cycle 2	0x7E7BeDfcea906A1feF682ecb4e316F6bD8758 7E3	create / claim / getCycle / pendingClaim
Manager	0xd587ba178010A34F7cFeEC6bd41D86eBEfAa11D3	将来の受付枠と制限の限定的管理
基金 · 2%	0x12aB84172C31DCE819aD2cbfcCFAD39C2D3d497f	第1サイクル支援分の受取先

5.3 Smart Cycle 2での利用手順

下図はSmart Cycle 2参加者の基本手順です。ウォレット接続と条件確認から、オンチェーンorderの作成、条件待ち、Claim、公式エクスプローラーでの結果確認までを示します。

01

Wallet connect

参加者がWeb3ウォレットを接続

02

パラメータ

金額、期間、Delta、fee、Claim、リスク

03

参加額

利用者が利用可能なflowを選択

04

Wallet confirmation

USDT Approveとcreateをウォレットで承認

05

SC2サイクル

getCycleでIDと条件を確認

06

条件待ち

ロック期間または選んだflowのモード

07

Claim

参加者が支援申請を開始



原則：署名前にネットワーク、アドレス、トークン、金額、Claim条件、Atlas公式情報を照合

1. 参加者がWeb3ウォレットを接続
2. Smart Cycle 2のプラン、金額、期間、Delta、参加時配分、claim条件を確認。
3. sponsorを確認し、approveでSC2に正確なUSDT額を許可。
4. 自分のウォレットでcreate(tariffId, gross, sponsor)に署名。
5. 成功した取引と、イベント内の自分のサイクルIDを確認。
6. Lockup Flow終了またはDaily Flowの受取可能分を待機。
7. 条件が整ったら参加者はClaimを申請可能
8. Claim実行はSmart Cycle 2の規則、流動性、基盤の状態、利用者操作の正確さによります。
9. 取引と関連操作は公式ブロックチェーンエクスプローラーで確認できます。

5.4 試算：Premiere、30日

サイクル額1 000 USDTの例。コントラクトはgrossをサイクル額として記録し、参加時配分で920 USDTには減りません。

経済パラメータ	値	説明
受入支援額	1,000 USDT	grossと記録されたサイクル額
Lock period	30 日	規則上Claimが可能になり得るまでの期間。
試算Delta	21%	1 000 × 21% = 210 USDT
試算支払額	1 210 USDT	1 000 USDT + 210 USDT Delta
Platform Fee	60 USDT	参加時1 000 USDTの6%、別途20 USDTを基金へ

Premiere：**サイクル額1 000 USDT、Delta 210 USDT、試算支払額1 210 USDT。6%の手数料と2%の基金配分は参加時に処理。claim時にDeltaの手数料は徴収しません。Gasは別途負担します。**

5.4.1 Daily Flow Coreの試算

1,000 USDT、200日参加の試算。実際の結果は条件と利用可能な流動性によります。

入力条件

1,000 USDT · 200日

1日1,2% × 200日

1日分の試算

1日12 USDT

1 000 × 1,2% = 12 USDT

200日間の試算

2 400 USDT

元本1 000 USDT + Delta 1 400 USDT

日次支払の内訳

5 USDT + 7 USDT

0,5%が元本返還、0,7%がDelta

1 000 USDT × 240% = 全期間2 400 USDT。Delta手数料はありません。

Gasは別途負担します。パートナー計算は利用者のClaim計算を変えません。

サイクル額1 000 USDTの日次試算は12 USDTで、元本返還5 USDTとDelta 7 USDTです。受取可能分の取得にはclaimが必要で、実行は契約条件と流動性によります。

5.5 Contract Map：Smart Cycle 2の中核構成

Smart Cycle 2の構成図。利用者サイクルとパートナーロジックは同一契約にあり、流動性はそのPancakeSwap V3ポジションに配置されます。最終ABIは画面と独立検証に使用します。

構成要素	ファイル／層	目的	利用者
Smart Cycle 2	SC2最終ソースコード	Lockup Flow、Daily Flow、sponsor、資格、ボーナス	利用者、画面、索引サービス
USDT BEP-20	決済トークン	サイクル額と支払、小数点以下18桁	SC2契約とウォレット
USDC BEP-20	ペアの第2トークン	USDT / USDC流動性要素	PancakeSwap V3ポジション
LP NFT 7682306	PancakeSwap V3	ポジションはSC2契約が所有	SC2コントラクト
Pool / Position Manager	PancakeSwap V3 interfaces	プール操作とポジション記録	SC2コントラクト
Manager	schedulePolicy / scheduleOpening	将来の受入に関する限定設定	登録簿記載のmanager
ABI	SC2最終ABI	正確な呼出し・イベントのシグネチャ	画面、索引サービス、検証ツール

5.6 Claimと流動性のフロー図

図はサイクル作成、claim申請、パートナーロジック、結果の独立検証を示します。SC2の全操作は現行契約とABIに照らして確認します。

図1. Smart Cycle 2の作成

01

利用者

Smart Cycleのflow、金額、期間を選択

02

Frontend

金額、fee、ネットワーク、注意事項を表示

03

Wallet

参加者自身が取引に署名

04

SC2.create

tariffId、gross、sponsorでサイクル作成

05

SC2ロジック

コードのルールに従い入金を配分

06

Pancake V3

流動性はLP NFT 7682306に記録

07

Event

SC2イベントでサイクルIDと結果を確認

08

Dashboard

バックエンドがサイクルを索引化・表示

要点：利用者自身が署名し、一次確認はオンチェーンイベントとContract Registryで行う

図2. 条件充足後のClaim：

01

サイクル条件

期間が終了した、または受取可能なDaily分が発生した

02

Frontend

Claim、金額、gas、ネットワーク、注意を表示

03

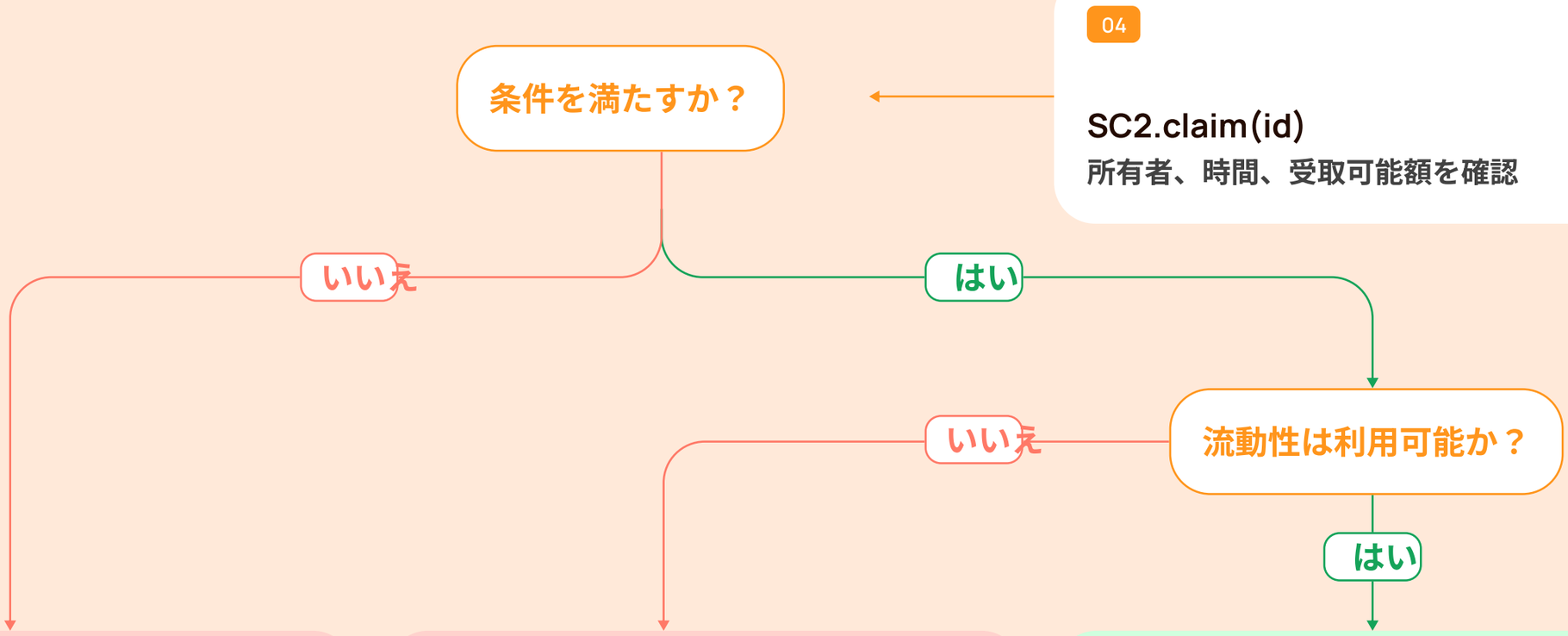
Wallet signature

参加者が自分のウォレットでClaimを承認

04

SC2.claim(id)

所有者、時間、受取可能額を確認



Claim拒否

条件未充足、または契約が拒否

待機／説明

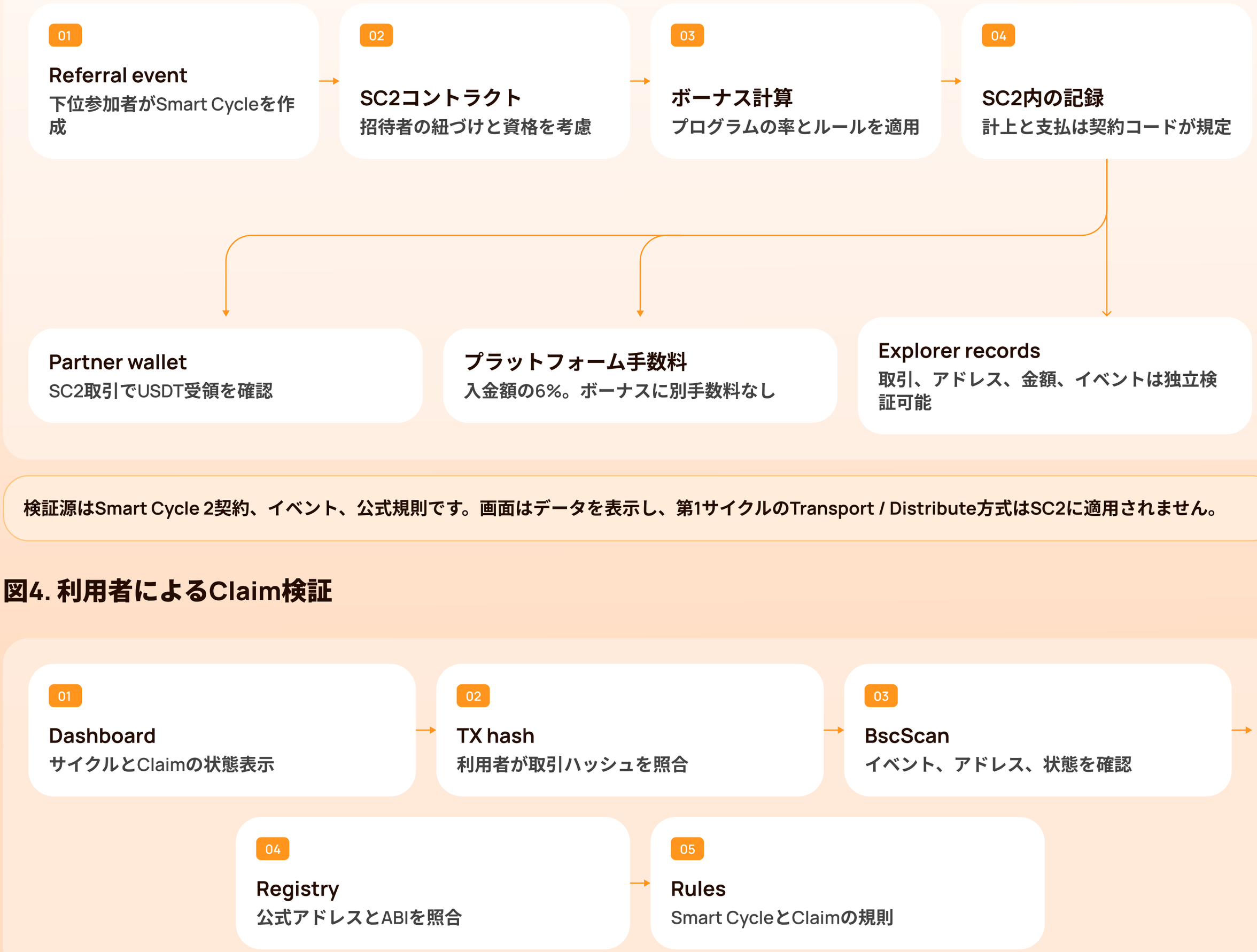
条件または流動性が不足すると、期待した時点でClaimは実行されません。画面と公式チャネルで明確な状態を示す必要があります。

Transfer + event

SC2コードに従う実行、USDT送金、取引イベント

Claimはサイクル規則に基づく支援申請です。実行はorder条件と利用可能な流動性によります。

図3. Smart Cycle 2のパートナーロジック



検証源はSmart Cycle 2契約、イベント、公式規則です。画面はデータを表示し、第1サイクルのTransport / Distribute方式はSC2に適用されません。

図4. 利用者によるClaim検証

検証原則：ダッシュボード、FAQ、パートナーの発言、エクスプローラーが異なる場合、公式Contract Registry、検証済み契約、Smart Cycle規則で操作を確認します。

5.7 Claimと流動性

Claimは特定Smart Cycleの条件が整った後の支援申請です。いつでも無条件に支払われると説明してはいけません。正しくは、参加者はSmart Cycle 2規則に従いClaimを申請でき、実行はサイクル条件、流動性、コントラクト、ネットワーク、基盤の状態に依存します。

Claimの要素	意味	参加者向け例	確認先
Claim availability	規則上、参加者が支援申請を送れる時点	ロック期間終了後、画面のClaimボタンが利用可能になり得る	画面、Smart Cycle規則、サイクルデータ
Lock period completed	選択したサイクル期間が終了した条件	30日サイクルなら、その終了前にClaimを利用できるべきではない	サイクル状態、timestamp、存在する契約イベント
Claim amount	規則に基づく支援申請の試算額	例：条件充足時の参加額＋試算Delta	画面、式、Contract Registry、イベント
Liquidity condition	Claim実行に利用できる流動性の有無	流動性が十分なら実行可能。不足なら遅延、または予定時点で実行されない場合がある	プール／流動性状態、エクスプローラー、公開システム状態
One-time / repeated claim	Claimが1回限りか、追加制限があるかの規則	成功後、同じサイクルで再Claimできない場合がある	コントラクト、Security Review、画面状態
Failed transaction	署名した取引が実行されなかった場合	ネットワークエラー、gas不足、契約拒否、Claim条件不備	ウォレット、エクスプローラー、画面のerror/status
Pending claim	Claim送信済み／可能だが結果が未確定の状態	待機表示は即時支払の保証ではないと理解する必要がある	画面、エクスプローラー、システム状態
Liquidity deficit	利用可能な流動性が不足する状態	Claimは新規サイクル、プール、LP／流動性、運用条件に依存する場合がある	Transparency Center、Security Review、プールデータ
Claim history	サイクルの申請・結果履歴	Claimが送信、実行、拒否、条件待ちのどれか確認できるべき	画面、イベント、エクスプローラー
User responsibility	利用者は自分のウォレットでClaimに署名し、BNBでネットワーク手数料を払います。Gas sponsorshipは有効な機能ではありません。	ネットワーク誤り、BNB不足、ウォレットエラーで失敗する場合がある	Wallet、BscScan、公式手順

規則上の申請権と実際の実行は別です。前者はサイクル条件と画面状態に関係し、後者は利用可能な流動性、技術状態、契約条件の充足に依存します。

5.8 画面、索引サービス、パートナーロジック

パートナーロジックはSC2契約に実装されています。サイト、サーバー、索引サービスが組織、状態、操作履歴を表示します。計上と送金の検証源はコードとブロックチェーンデータです。

層	機能	Source of truth	リスク／開示
Frontend	ウォレット接続、サイクル表示、create / claim	ABI + backend display + explorer links	表示ミスはあり得るがオンチェーン検証に代わるべきではない
Backend	画面の認証、索引化、組織表示	Database + indexed events	データ表示のみでclaimや計上ルールは変更しない
JSON-RPC provider	イベントと取引の取得	Blockchain node/provider	遅延、provider障害、再同期の可能性
SC2パートナーロジック	sponsor紐づけ、資格、ボーナス計算	SC2コード、イベント、状態	支払条件と可否は契約で確認
Manager	schedulePolicy / scheduleOpening	SC2最終コードと状態	将来の受入に関する限定設定のみ

5.9 権限とリスク

契約は参加者の権利を記録しmanager権限を制限します。managerアドレスにLPポジションや参加者資金への任意のアクセスは与えません。

操作	自動／利用者	Manager／管理者	注記
サイクル作成	参加者ウォレットからcreate	いいえ	利用者が取引に署名
利用者のClaim	はい、利用者が開始	不要	所有者、期間、受取可能額を確認
作成済みサイクルの変更	いいえ	任意変更関数なし	作成済み条件は維持
Treasury / Fund変更	いいえ	いいえ	アドレスは不変パラメータ
将来の上限	いいえ	schedulePolicy	次の週次期間から有効
受付枠の開始	いいえ	scheduleOpening	未開始の受付枠の同日内
LPの任意引出し	いいえ	いいえ	管理者によるLP NFT引出し・移転なし
sponsor移行	呼出しは公開	固定データセット	一度限り、件数とハッシュを確認

5.10 Smart Cycle 2の障害シナリオ

障害シナリオは怖がらせるためではなく、難しい状況での動作を事前に説明するためです。正常時に加え、故障、流動性不足、疑義のある操作で何が起きるかを示します。

障害シナリオ	起きること	利用者の表示	確認先
流動性不足	**期待するClaimに必要な流動性が不足**	**Claimが不可、条件待ち、または予定時に実行されない場合**	**画面、explorer、Transparency Center、プール状態**
バックエンド利用不可	**サーバー、索引サービス、組織表示が一時利用不可**	**エラー、古いデータ、制限モードを表示する場合**	**Status page、画面、サポート窓口**
フロントエンド利用不可	**個人画面を開けない、または画面から操作できない**	**サイト未読込、ボタン無反応、データ非表示**	**公式チャネル、ミラー／予備URL、explorer**
ネットワーク混雑／高額gas	**取引が高額または低速化**	**ウォレットに高額gas、pending、failed transaction表示**	**ウォレット、BscScan、BNB Smart Chain状態**
利用者の誤操作	**ネットワーク、アドレス、トークンを誤選択、または誤った取引に署名**	**誤送金、またはSmart Cycle 2と無関係な操作になる場合**	**ウォレット、Contract Registry、explorer**
契約がClaimを拒否	**条件未充足のため契約がClaimを受理しない**	**取引がreverted/failed、または画面に拒否表示**	**Explorer、ウォレットのerror/status、Smart Cycle規則**
公開条件とコードの不一致	**White Paper、画面、FAQが最終契約と異なるモデルを表示**	**Delta、fee、Claimへの誤った期待が形成される**	**Product/contract consistency check, Security Review, changelog**
Smart Cycle 2の終了または減速	**活動・流動性の低下、または新サイクルに交代**	**Claim条件と参加は段階や現時点の流動性に依存し得る**	**第5節、Transparency Center、画面状態**

変更、移行、インシデント

変更
最新アドレスと状態はContract Registryと変更履歴に公開。

移行
新契約は既存orderを変更しません。作成元契約との紐づけは残ります。

インシデント
操作を止め、Registryとexplorerを確認し、サポートチケットを作成。

5.11 Security Review Status

SC2の最終ソースとABIを取得済みです。再現可能ビルドを展開済みruntimeコードと照合しました。SC2独立監査報告は未公開で、以前のサイクルの検証や報告は新契約の監査を証明しません。

検証	ステータス	意味
Slither	SC2報告は未公開	過去の結果は新契約に引き継がれない
Solhint	SC2報告は未公開	最終コードに対する個別結果が必要
再現可能ビルド	runtimeと照合済み	solc 0.8.20、展開済みruntime — 21 469バイト
Mythril	SC2報告は未公開	旧契約の検証はSC2検証ではない
Aderyn	SC2報告は未公開	SC2個別報告で状態を確認
権限	コードで確認済み	作成済みサイクルの管理変更やLP任意引出しなし
Manager	コードで制限	将来の制限と受付枠にschedulePolicyとscheduleOpening
LP NFT 7682306	所有者はSC2	所有権とapprovalsはPosition Managerで検証
文書の整合性	定期照合	アドレス、プラン、役割、呼出しをABIとネットワークで照合
最終ソースとABI	取得済み	文書と独立検証に使用
独立監査	SC2報告は未公開	公開後、アドレス、コード版、検証範囲を確認

5.12 BNB SMART CHAIN／公開検証
Atlas Systemのスマートコントラクト登録簿と操作方法。

Smart Cycle 2 · BNB Smart Chain · Chain ID 56。**アドレスと役割は最終ABI、ソース、展開済み契約と照合済みです。操作前にはネットワーク状態を再確認します。**

ネットワーク
BNB Smart Chain · Chain ID 56

Explorer
BscScan

日付
2026-10-19

1. 主要スマートコントラクト登録簿

BNB Smart Chain上のAtlas System公開コントラクトアドレス。コピーしてBscScanで確認できます。

モジュール	システム内の役割	アドレス
Smart Cycle 2	Lockup Flow、Daily Flow、パートナーロジックの統一契約。LP NFT 7682306の所有者。	0x7E7BeDfcea906A1feF682ecb4e316F6bD87587E3
Manager	将来の新規サイクル受入制限と時間枠の限定管理。	0xd587ba178010A34F7cFeEC6bd41D86eBEfAa11D3
USDT BEP-20	サイクル作成、金額記録、支払受取に使う決済トークン。	0x55d398326f99059fF775485246999027B3197955

Atlasの基盤コントラクト

LP NFT 7682306 · Position Manager: 0x46a15b0b27311cedf172ab29e4f4766fbe7f4364. Pool USDT/USDC: 0x92b7807bf19b7dddf89b706143896d05228f3121. USDC: 0x8ac76a51cc950d9822d68b83fe1ad97b32cd580d. Deployer: 0x61726fbe5eC6b98d67dC4eA4B308FdFa0a18B424. SYSTEM_SPONSOR: 0x28498D22Ff08fc0309d0a82335E8960336003C6b. Factory: 0x0bfbcf9fa4f9c56b0f40a671ad40e0805a091865. **プール全体のTVLはSC2ポジション資産とは異なります。**

モジュール	システム内の役割	アドレス
Treasury · 6%	入金額grossからのプラットフォーム手数料受取先。	0x5F0411975A5500dBC465cceE16dEa1C7b93440f7
基金 · 2%	grossから第1サイクル参加者支援分を受け取る先。	0x12aB84172C31DCE819aD2cbfcCFAD39C2D3d497f

2. 検証用リンク

Smart Cycle 2	https://bscscan.com/address/0x7E7BeDfcea906A1feF682ecb4e316F6bD87587E3
Manager	https://bscscan.com/address/0xd587ba178010A34F7cFeEC6bd41D86eBEfAa11D3
USDT BEP-20	https://bscscan.com/address/0x55d398326f99059fF775485246999027B3197955
Treasury · 6%	https://bscscan.com/address/0x5F0411975A5500dBC465cceE16dEa1C7b93440f7
基金 · 2%	https://bscscan.com/address/0x12aB84172C31DCE819aD2cbfcCFAD39C2D3d497f

3. 利用者の操作方法

サイクルの作成は、ウォレット接続、USDT の使用承認、Smart Cycle 作成の3段階です。選択したサイクルの条件が満たされた後、参加者は別途 claim で支払いを請求します。

Connect Wallet	ウォレット接続はオフチェーンです。オンチェーン署名がなければ公開取引は発生しません。
Approve USDT	SC2に正確なUSDT額の利用を許可します。許可だけではサイクルを作成しません。
Create Smart Cycle	Smart Cycle 2契約のcreate(tariffId, gross, sponsor)。

4. 経済的仕組みと金銭的利点の可能性

Smart Cycleでは、選択規則に沿ってシステムを支援し、条件を満たすと支援額と試算deltaの返還を申請できます。

シナリオ	利益の可能性が生じる仕組み
Lockup Flow	固定サイクル、期間、参加額を選び、終了後に契約規則に沿って参加額と試算deltaを請求できます。
Daily Flow	日次サイクルに参加し、契約の日次ロジックに従う受取可能分を請求できます。
USDT	USDTは参加額、資金移動、支払を記録する決済資産です。
claim条件	実際のclaim可否は選択サイクルのルール、契約状態、利用可能な流動性によります。

経済的仕組みの説明は収入保証ではありません。参加は本人が判断し、取引、契約アドレス、USDT移動を公開BscScanで確認できます。

5. コントラクト間の連携

一つのSC2契約が両サイクルとパートナーロジックを扱います。流動性はPancakeSwap V3のLP NFT 7682306に記録。参加時Treasuryへgrossの6%、基金へ2%を配分し、記録サイクル額はgrossと同額です。

コントラクト	システムとの連携方法
Smart Cycle 2	createを受け、サイクルとsponsorを記録し、コード条件に従いclaimを実行。
LP NFT 7682306	PancakeSwap V3ポジションはSC2契約の所有。管理者の任意引出しはありません。
Treasury	入金額の6%を受領。Deltaとパートナーボーナスに追加手数料なし。
基金	入金額の2%を受領。基金残高はLPポジションと別計上。

5.13 所有権、手数料、権限

2026年10月19日時点のSmart Cycle 2構成。役割はソースとネットワーク状態で照合します。managerアドレスがあることは資金への任意アクセスを意味しません。

現在の構成一覧

構成要素	役割	条件
Smart Cycle 2	サイクルとパートナーロジック	コードでパラメータ設定
LP NFT 7682306	所有者はSC2契約	任意引出し不可
Manager	将来の制限と受付枠	コードで制限
Treasury	プラットフォーム手数料	grossの6%
基金	第1サイクル支援	grossの2%

現行の管理アドレス

SC2契約: 0x7E7BeDfcea906A1feF682ecb4e316F6bD87587E3

Manager: 0xd587ba178010A34F7cFeEC6bd41D86eBEfAa11D3

Deployer: 0x61726fbe5eC6b98d67dC4eA4B308FdFa0a18B424

展開アドレスにコード所定以外の追加権限はありません。

LPポジションへのアクセス

LP NFT 7682306はSC2契約が所有します。最終コードにはNFT移転、外部オペレーター承認、流動性の任意引出しを行う管理関数がありません。使用は契約ロジックに限られます。ただしコードや流動性確保のリスクがなくなるわけではありません。

5.14 流動性と直接操作

公開プール、AtlasのLPポジション、サービス契約残高は別指標です。BscScanからの直接呼出しにはアドレスと引数の個別確認が必要です。

流動性データの範囲

- SC2流動性はPancakeSwap V3 NFT 7682306という特定ポジションの資産です。
- USDT / USDCペア、プール手数料0,01%、ポジション範囲ticks 1000–2000。
- Total Pool Liquidityは他の提供者を含み、Atlas残高ではありません。
- Treasury、基金、外部ウォレット残高はSC2 LPポジションと別計上です。
- LPポジションは異なる比率のUSDTとUSDCを保有し得ます。価値とClaim可否はプール状態、範囲、外部基盤に依存します。ポジション：https://pancakeswap.finance/liquidity/7682306

BscScanによるDirect Interaction

1. BNB Smart Chain、Chain ID 56、登録簿のSC2アドレスを確認。
2. 正確なUSDT額をSC2にapproveし、create(tariffId, gross, sponsor)を実行。
3. gross = USDT額 × 10^{18}。GasはBNBで支払います。
4. 成功取引のイベントでサイクルIDを探し、getCycle(id)とpendingClaim(id)を確認。
5. 所有者のウォレットからclaim(id)を実行。cycleCountは全体件数で、自分のサイクル一覧ではありません。

重要な注意事項

新規参加者のsponsor = 0はSYSTEM_SPONSORを選択し、登録済みなら従来の紐づけを維持します。非ゼロsponsorは既存の紐づけと一致する必要があります。通常のUSDT送金ではサイクルは作成されません。手順：atlas-system.global/ja/direct-interaction-with-smart-contracts/。

6. Smart Cycleのライフサイクル

6.1 システムの循環性

Atlasの中核理念の一つは、Smart Cycleを寿命のない永久商品と考えないことです。各サイクルには開始、成長、活発な資金循環、停滞、減速、流動性低下、終了という独自の動きがあります。隠れた欠点ではなく、誠実な説明の一部です。

従来の高利回りオンライン事業は無期限に続く印象を与えがちです。安定した率、繰り返される支払、自信ある言葉を示す一方、入金減速、活動低下、流動性枯渇で何が起きるかはあまり説明しません。

Atlasは当初から循環性を認めます。ある時点で成功し活発で需要のあるSmart Cycleでも、条件が永遠に適切とは限りません。市場、参加行動、流動性負荷、技術条件、情報環境、利用経験は変化し得ます。

一般の事業に例えると分かりやすいでしょう。レストランは新規客、関心、口コミ、行列で華々しく開店できます。数年後には客が慣れ、競合が新案を出し、家賃・人件費・税・保守費は高いまま客足が減るかもしれません。良い経営者は何もないふりをせず、メニューやコンセプト、ブランドを変え、新業態を始めます。

多くの技術、トークン、アプリ、デジタル商品にも同様の流れがあります。発想、初期利用者、急成長、安定化、競争や飽き、新版への移行です。同じ形で永久に続く必要はありません。成熟とは旧形態に固執することではなく、段階を正直に認め次版へ進む力に現れることがあります。

各Smart Cycleには固有の寿命があります。Smart Cycle 1は終了し、現行中核はSmart Cycle 2です。以後の発展はデータ、参加者経験、システム状態に基づき、個別サイクルの永久稼働を約束しません。

各Smart Cycleを経済プロトコルの個別バージョンと考えられます。初版は基本機構、実際の参加行動、ルールの長短、流動性負荷、伝達品質、計算モデルの安定性を示します。次版は経験を取り込み、より精確、明快、持続的になり得ます。

Atlasは一度きりの企画よりも、生きたデジタル協力の実験室に似ています。各サイクルから期間選択、リスク反応、リーダー活動、負荷箇所、分かりやすい条件と改善点のデータを得ます。経験は誤りの言い訳ではなく、次のサイクル、画面、文書、パートナープログラム、防護の改善に使います。

Smart Cycleの動きはコミュニティ行動に大きく左右されます。運営は規則、画面、文書、契約、パートナー基盤、交流を用意できますが、活発な期間の長さは参加者が規則を学ぶか、リスクを正直に説明するか、チームを支えるか、新人を招くか、信頼を守るか、虚偽の約束を避けるか、全体での役割を理解するかに依存します。

したがって特定Smart Cycleの正確な寿命を誠実に予測することはできません。数か月の場合も、もっと長い場合もあります。活動は弱まって再び強まり、成長は波打ち、市場、言語、地域、リーダー、情報環境、技術、参加者行動に左右されます。Atlasはこれを公開し永久機関の幻想を作りません。

Atlas参加者は受動的な観客やボタンを押すだけの顧客ではありません。生きたシステムの参加者、観察者、ある意味で次版の共同創作者です。行動、規律、意見、交流文化、リスクを正直に語る姿勢が次のプロトコルを形づくります。

Smart Cycleを作り、学び、公式情報を共有し、正しく人を招き、コミュニティ文化を支えることで、参加者はAtlasの土台に貢献します。この責任を理解して行動する人が多いほど、エコシステムは強まり、活発な期間が長くなる可能性があります。

ただし永続を約束しません。実体経済には開始、発展、成熟、減速、更新があります。Atlasの強みは一つのサイクルの永久存続ではなく、循環性を正直に認め次段階へ進めることです。

最初のSmart Cycleで仕組みの運用とコミュニティ成長の経験を得ました。Smart Cycle 2は独自の契約、条件、文書で発展を続けます。

Smart Cycleの寿命はいくつかの段階で説明できます：

段階	起きること
準備	規則、条件、リスク、画面、文書、技術情報を公開
開始	参加者がSmart Cycleを作り、初期活動と流動性が形成
成長	参加者増加、パートナー組織と教育基盤の発展
安定化	継続的に利用され、参加行動や負荷のデータが蓄積
減速	活動低下の可能性、Claimが流動性に依存、後期参加リスク上昇
終了	経済的な適合性を失い利用者の関心が低下し得る
移行	経験を分析し条件を更新、次のサイクルや製品を準備

この姿勢はAtlasを誠実にします。参加者は個別Smart Cycleが無期限でないと事前に理解できます。資金循環が弱まり、新サイクルが不足し、モデル条件が市場に合わなくなると、減速・終了段階へ移る可能性があります。

個別Smart Cycleの終了はAtlasの終わりではありません。Atlasは単一の契約、プラン、開始より広く、コミュニティ、文書、プログラム、教材、ガバナンス、技術基盤、後続サイクルを立ち上げる可能性を含みます。

Smart Cycle 2は入金grossの2%を第1サイクル参加者支援用の別基金に配分します。受取先と率は登録簿に記載し、基金残高はSC2 LPポジション資産に含めません。

基金配分は全損失の自動補償を意味しません。分配条件と利用可能額は別規則が定め、新サイクルは過去の参加結果を遡って変えません。

新Smart Cycleへの交代や開始は、公開規則と技術ロジックで定められる場合を除き、既存の有効サイクルの条件を遡って変更しません。参加前に対象サイクルの条件を学び、自分の操作にどの規則が適用されるか理解する必要があります。

新サイクルに新しい条件や契約を使う場合、Atlasはアドレス、規則、試算、リスク、監査またはsecurity review、明確なバージョン状態とともに別途公開します。

6.2 Smart Cycle 2と後続バージョン

Atlasの現行中核はSmart Cycle 2です。Smart Cycle 1は終了しアーカイブされています。Smart Cycle 3は第2サイクルを引き継ぎますが、開始日は未定です。各版には独自の条件、アドレス、規則があります。

次版は技術結果、参加行動、流動性負荷、意見を考慮します。新しい名称があっても、開始済みや条件承認済みを意味しません。

新Smart Cycleは旧版の複製とは限りません。期間、試算Delta、手数料、技術構成、Claim条件、自動化、バックエンド関与、パートナールールが異なり得ます。主要な相違点はすべて参加前に公開・説明します。

開始前に参加者は別個のバージョン情報を確認できます：

公開する情報	目的
サイクル名とバージョン	Smart Cycle 2がSmart Cycle 1ではないと理解するため
主要パラメータ	金額、期間、試算Delta、手数料、Claim、制限
旧サイクルとの違い	変更内容と理由を確認するため
契約アドレスとネットワーク	旧アドレスでなく現行版を検証するため
Risk disclosure	新バージョンのリスクを参加前に開示するため
Security status	完了した検証と進行中の検証を知るため
Partner Program impact	新サイクルとパートナー組織の関係を理解するため

新Smart Cycleは個別バージョンまたは製品段階として説明します。参加者は対象サイクル、適用条件、契約アドレスの公開先、その版のリスクを理解します。Smart Cycle 1への参加がSmart Cycle 2条件への自動同意になることはありません。

新サイクル開始の最終決定時には公式条件、技術説明、契約アドレス、risk disclosure、更新文書を公開します。新契約なら旧アドレスや口頭情報に頼らず、新しいContract Registryを確認します。

新Smart Cycleは旧ルールを遡及変更せず、旧参加者の自動補償も約束しません。過去サイクルの支援策がある場合は、資金源、上限、分配条件、返還保証でない旨を別途公開します。

循環性はAtlasの適応力を高めます。一つの商品を永久に維持する代わりに、開始、結果検討、誤り記録、条件改善、構成更新、次版への移行を段階的に行えます。初版で基本機構を導入し、実利用に基づき後続版の構成を磨く、ソフトウェア開発に近い考え方です。

参加者には、個々のサイクルの経済的有効期間は限られ得るという誠実な期待を示します。リーダーには長期的な組織維持を意味し、サイクルが終わってもコミュニティ、学習、ネットワーク、経験は次段階へ進めます。

Smart Cycleの寿命はAtlas存続への脅威ではなく構成の一部です。サイクルは始まり終わりますが、Atlasは各段階から学び、経験、データ、検証、コミュニティ参加を基に新しい仕組みを始められるエコシステムとして発展します。

6.3 コミュニティ投票と DAO Governance

コミュニティ投票と DAO Governance スマートコントラクトは別の仕組みです。コミュニティは独立した off-chain サービスで投票できますが、稼働中の Smart Cycle のコードや条件は変更されません。独立した DAO Governance スマートコントラクトは将来の仕組みとして検討されており、まだ稼働していません。

次サイクルの準備では期間、Delta、claim条件、流動性要件、技術構成の異なる案を議論に出せます。Smart Cycle 2は既に現行版であり、将来版の提案は別途公開します。

次のサイクルを選ぶ際、チームは選択肢を準備し、パラメータを公開し、リスクと相違点を説明して議論を開始します。参加者は、その投票の公開ルールに従い、独立したサービスで投票します。

投票ルールは、参加資格、票の重み、集計方法、結果の検証方法を定めます。参加者は選択肢、票の集計手順、公表された結果、決定の状態を確認できる必要があります。

参加資格、票の重み、集計方法は各投票の規則が定めます。同一の式を異なる投票へ自動適用できません。

投票規則で確認すること：

算定根拠	票の重み	例
参加資格	**投票条件に従う**	**資格と参加者確定日**
票の重み	**公開された式に従う**	**検証可能な入力データと集計**

票の重み、定足数、期限、可決基準は各投票で公開します。署名する前に条件を確認してください。

このモデルは小口参加者の排除ではなく形式的な操作からガバナンスを守るためです。ウォレット数だけなら多数の小規模アカウントで歪められ得ます。経済的参加を考慮すると、Atlas発展への実際の貢献をより反映できます。

投票評価は累積的・動的になり得ます。Smart Cycle参加、Atlas製品の利用、パートナー報酬に応じて増え、現行ガバナンス規則で更新されます。式、制限、集計期間、例外、悪用防止策は投票前に公開します。

DAOを参考にした仕組みの用途：

- 将来Smart Cycleの条件議論
- エコシステム発展の優先事項選択
- 参加者とリーダーの意見収集
- ウェビナー、教材、地域施策のテーマ投票
- 次の構成案の評価
- 将来Smart Cycle版の案の比較
- 重み付き投票による新Smart Cycle案の選択
- 新サイクル開始前のコミュニティ意向形成

ガバナンスによる新Smart Cycle開始の流れの例：

段階	起きること
1. 前サイクルの分析	チームが現行サイクルの動向、リスク、誤り、意見を記録
2. 案の準備	次サイクルの案、条件、リスクを公開
3. 議論	参加者、リーダー、チームが案を議論し質問や修正を提案
4. 投票	DAO Governance platformで票の重みを用いて投票
5. 結果集計	ウォレット数でなく各案への票の総重量を集計
6.「どれも支持しない」の選択肢	案の改善が必要なら別の選択肢を選べる
7. 最終検証	選ばれた案を技術、法律、経済、セキュリティ面で検証
8. 実装	契約、画面、文書、監査／security review、開始日を準備
9. 開始	新Smart Cycleをアドレス、条件、公式規則付きの個別版として公開

どの案も支持されない場合、チームは条件を修正して再投票に出せます。参加者は与えられた案から選ぶだけでなく、構成の見直しが必要だと示せる重要な仕組みです。

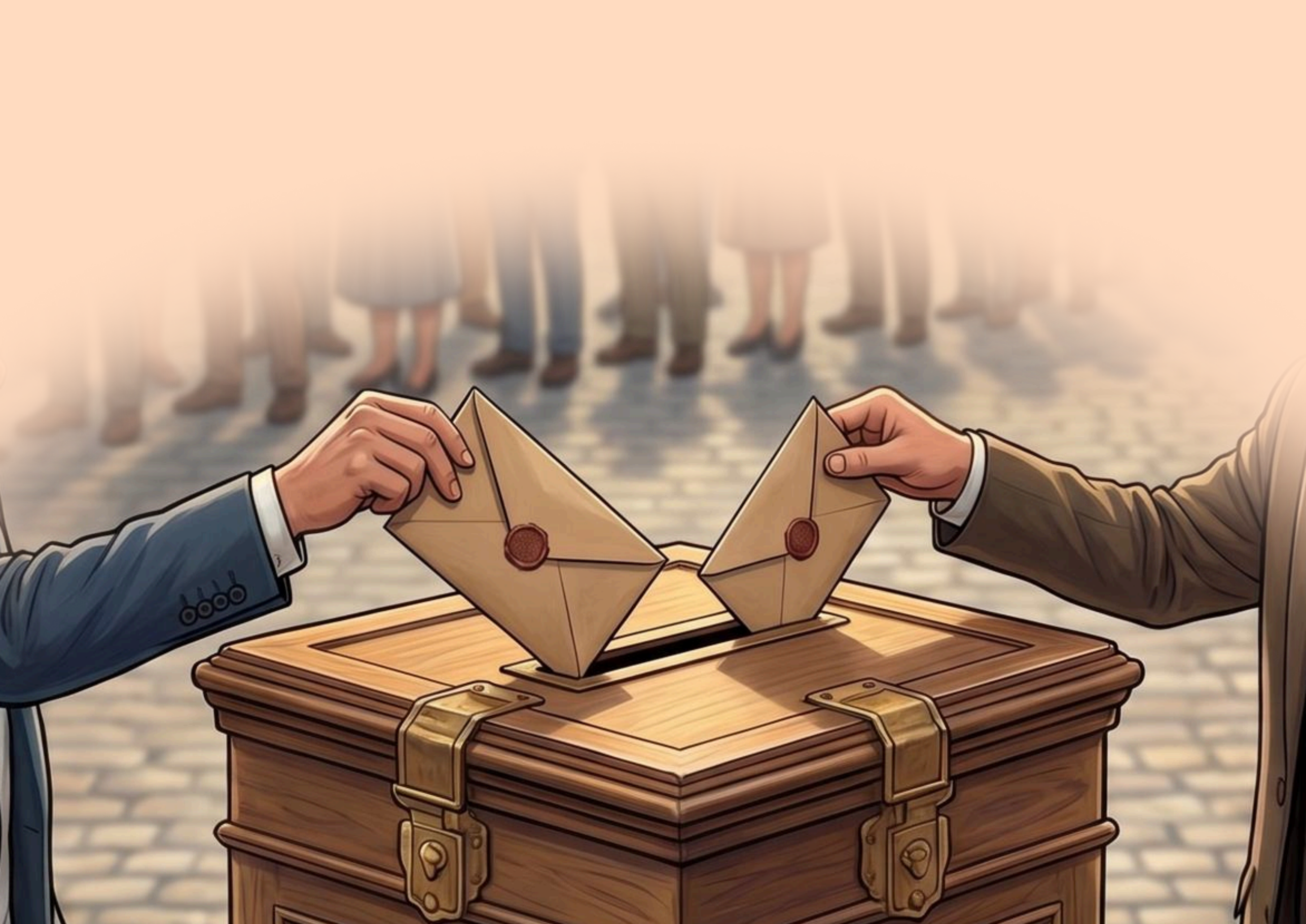
支持された案は開発、テスト、技術検証、画面と文書の準備へ進みます。日程は別途公開し、投票だけで新版が利用可能になるわけではありません。

可決基準、定足数、期間、参加範囲は各投票の公開規則で決まり、過去議論の数字は自動適用しません。

DAO型ガバナンスは、投票で支払を保証し、リスクを消し、稼働中サイクルを遡及変更し、契約を迂回し、別途公開の文書なしでAtlasを完全なDAOにするという印象を与えてはいけません。投票は方向を選ぶ手助けですが、安全な開始に対するチームの技術・法律・製品責任をなくしません。

参加者は上からの決定を待つだけでなく、次のAtlas版の発展に理解を持って関われます。管理側は案と技術実装を用意し、コミュニティは透明な投票で最も有力で受け入れられる道を示します。

将来の DAO Governance スマートコントラクトは、製品の優先事項、学習資料、地域の取り組み、新バージョンのパラメータの選択にコミュニティが参加する仕組みを拡張する可能性があります。個別の稼働開始までは構想段階であり、現在のサービスによる投票を否定するものではありません。



6.4 Atlasエコシステムとロードマップ

Smart Cycle 2は現行の中核です。以下の他の方向は開発計画であり、ロードマップ掲載は開始を意味しません。日付は確認後に別途公開します。

Active	Smart Cycle 2 Invite & Earn Knowledge Hub	**現在のエコシステムで利用可能**
開発	Performance Partners Program Governance Atlas P2P Exchange	**開発方向、時期未定**
構想	Atlas Academy Talk Messenger	**将来製品、未稼働**
構想	Crypto Wallet Swap DAO	**将来製品、未稼働**
長期	Bank DAO	Concept／**長期構想**

7. パートナープログラム

7.1 概要

Atlasのパートナープログラム、Invite & Earnはコミュニティを成長させる仕組みです。参加者は人を招待し、自分の組織を築き、公開ルールに従ってチームの活動による報酬を得ることができます。

Invite & Earnは多段階ステータスと圧縮／展開機構を備える直線型パートナーモデルです。紹介ツリーの上に早く入った順ではなく、個人活動、第1階層の量、組織の深さ、教育の質、総作業量という実績を重視します。そのため下位でも強い実績があれば昇格し、上位の資格を超え、規則により高い率を得られます。

Invite & EarnはSmart Cycleの代替でも収入保証でもありません。Smart Cycleは相互支援システムとの関わり方を、パートナープログラムはコミュニティの育成、新人教育、チーム維持、Atlas発展への参加方法を説明します。

ボーナスは入金全額ではなく組織内サイクルのDeltaが基準です。資格率は10%〜70%、基本報酬は正の率差で上位へ配分します。70%とは、上位全員が同じDeltaの70%を追加でもらう意味ではありません。

パートナープログラムには、紹介元の帰属、キャリアステータス、算定 Delta に基づくボーナス、コンプレッション、matching bonus、教育担当、ウェビナー、地域チームが含まれます。ボーナス計上、資格、上限、制限の条件は、別文書の Partner Program Rules と現行インターフェースに記載されています。

昇格は個人活動、第1階層、組織総量に基づき、規則上のステータスが高いほどチームDeltaに対する率が上がります。ただし無条件の支払権ではなく、正しい帰属、組織活動、違反の有無、技術状態、現行規則を考慮します。

圧縮は異なるステータスの活動参加者へ公平に報酬配分するためのものです。通常、上位パートナーは現行規則に従い、自分の率と下位の率との差を受け取ります。

MatchingはMaster 1から利用できます。条件を満たした場合、直接招待した参加者のパートナー収入に基づいて計算します。額は資格によって決まり、ステータス表の最終列に示します。

Invite & Earnはサイクル間のコミュニティ維持と成長を支援します。第1サイクルは終了し、Smart Cycle 2には独自の計上・資格規則があります。SC1の歴史的条件は新契約へ自動移行しません。

Atlasのパートナープログラムは給与、不労所得、投資保証、配当、固定報酬の約束ではありません。報酬は公開規則、資格、組織活動、データ精度、技術条件、制限、伝達規則順守に依存します。優れたパートナーは機会だけでなく、自発性、無保証、Smart Cycle規則、流動性、Claim、Web3リスク、本人判断の必要性を説明すべきです。



7.2 昇格ステップ

Atlasの昇格ステップは初期からリーダーまでの道筋です。個人参加、第1階層の発展、組織拡大、チーム教育、新たなボリューム達成を通じて上がります。

Smart Cycle 2モデルには22ステータスがあります：

ステータス	個人量、USDT	第1階層、USDT	組織、USDT	率、%	Matching、%
Start	**10**	**不要**	**不要**	**10**	—
Builder 1	**50**	**100**	**不要**	**12**	—
Builder 2	**100**	**300**	**1 000**	**14**	—
Builder 3	**200**	**700**	**2 000**	**16**	—
Builder 4	**300**	**1 200**	**4 000**	**18**	—
Builder 5	**500**	**2 000**	**7 000**	**20**	—
Builder 6	**700**	**3 000**	**12 000**	**22**	—
Master 1	**1 000**	**4 500**	**18 000**	**24,5**	**1**
Master 2	**1 500**	**7 000**	**28 000**	**27**	**3**
Master 3	**2 000**	**10 000**	**40 000**	**29,5**	**5**
Master 4	**2 500**	**13 000**	**60 000**	**32**	**7**
Master 5	**3 000**	**17 000**	**85 000**	**34,5**	**9**
Master 6	**4 000**	**25 000**	**120 000**	**37**	**11**
Architect 1	**5 000**	**35 000**	**200 000**	**40**	**14**
Architect 2	**6 000**	**45 000**	**300 000**	**43**	**17**
Architect 3	**7 000**	**60 000**	**450 000**	**46**	**20**
Architect 4	**8 000**	**80 000**	**600 000**	**49**	**23**
Architect 5	**10 000**	**100 000**	**800 000**	**52**	**26**
Architect 6	**12 000**	**120 000**	**1 100 000**	**55**	**29**
Top Leader 1	**15 000**	**150 000**	**1 500 000**	**60**	**33**
Top Leader 2	**20 000**	**200 000**	**2 000 000**	**65**	**37**
Top Leader 3	**30 000**	**300 000**	**3 000 000**	**70**	**41**

Startには個人の有効資格ボリューム10 USDTが必要です。Contract Testは資格ボリュームに含めません。

Builder 1–6はチーム形成の初期段階です。Master 1–6は条件を満たすとMatchingが開きます。Architect 1–6、Top Leader 1–3は後続資格段階です。必要ボリュームと率は表に記載します。

Deltaボーナスは組織内パートナーが受け取った追加Deltaに対する計算上の率で、Smart Cycle総額の率ではありません。固定利益や、規則外でAtlasが特定額を払う義務として説明してはいけない重要な違いです。

Matching bonusは成熟したリーダー向けで、チーム成長を妨げるのでなく、自分の下で有力リーダーを育てる人を支援します。下位パートナーが早く成長し強い組織と高い地位を得た場合、公開ルールに従いmatchingに反映できます。

Lockup Flowの資格係数は個人と1–3階層100%、4–6階層60%、7–10階層40%、11–20階層20%、21階層以降5%。Daily Flow Coreは半分です。これはボリュームの重みで支払率ではありません。終了済みサイクルとContract Testは除外します。

7.3 追加条件と機能

追加機能には教育、ウェビナー、リーダー役割、地域チーム、宣伝資料、品質評価、ウェビナー開催申請などのコミュニティ育成ツールがあります。

Atlasの個人画面には、バナー、紹介画像、ランディングページ、文章、視覚要素、教材など承認済みの公式販促素材一式を用意します。統一スタイルと正確な表現でAtlasを説明し、ばらばらな発信を避けるためです。

公式素材を使っても伝達規則を守る義務は残ります。最新版を使い、意味を歪めず、保証収入を約束せず、公式文書で裏付けられない主張をしてはいけません。

招待者の紐づけはSmart Cycle 2で最初に成功したcreateで確定します。新規参加者のゼロsponsorはSYSTEM_SPONSORを選び、既存登録者は従来の紐づけを維持します。取引が取り消されると新しい紐づけも取り消されます。

ボーナスの計上、支払、蓄積は現行Smart Cycle 2契約が定めます。個人画面は状態と履歴を表示します。独立確認には公開アドレス、ABI、イベント、パートナープログラム規則を使います。

Daily Flowのパートナー計算は現行SC2契約が定めます。条件：atlas-system.global/ja/partner-program-rules/。

ウェビナーはAtlasパートナー基盤の重要部分です。異なる言語・時間帯の参加者がSmart Cycle、安全規則、ウォレット、プログラム、主要リスクを学べます。開催申請はBuilder 4以上で利用可能になる予定です。

質の高いウェビナーを行う講師には30〜150ドルの金銭ボーナスを予定しています。人数、説明品質、講師評価、承認資料の順守、コミュニティへの有用性に依存し、給与、支払保証、どんな登壇でも得られる自動的権利ではありません。

リーダー間の利益相反を避けるため、教育ウェビナーを他人の参加者を引き抜く手段にしてはいけません。目的は仕組み、リスク、規則の説明で、講師個人の営業ではありません。特定形式で紹介リンクを認める場合は別規定とし、他のリーダーや参加者の利益を侵害してはいけません。

パートナーは正確に表現しなければなりません。禁止事項：

- 保証収入を約束する
- Smart Cycleを預金、預託、投資と呼ぶ
- リスクと保証がないことを隠す
- 緊急性や機会損失の恐怖で圧力をかける
- 古い資料を使う
- Atlas、チーム、契約を代表して結果を約束する
- seed phrase、private key、ウォレットアクセスを求める
- 事業状態、監査、DAO、支払保証について誤解を与える

パートナープログラムは透明性を高め、誤った期待を作るべきではありません。リーダーは、Atlasが試算上の機会、ツール、教育、基盤を提供する一方、リスクをなくさず金銭的結果を保証しないという正しい理解の上にチームを築く必要があります。

伝達規則違反、不正利用、フィッシング、操作、自己リファラルによる不正、偽素材使用、保証収入の約束があれば、現行規則に従い、一部のパートナー機能、ボーナス、ウェビナー申請、その他プログラム機会の権利を失う場合があります。

Atlasのプログラムはコミュニティの長期発展ツールです。リーダー資産の維持、教育、透明なデジタル相互支援を核にした国際組織作りを助けます。Smart Cycleを儲け話に置き換えるのでなく、活動参加者に成長、責任、貢献の明確な道を示します。

8. Atlas System — 自発的な相互資金支援プラットフォーム

8.1 運営原則（相互支援基金）

Atlas Systemは自発的な相互資金支援のデジタル基盤です。日常的には相互支援基金のように、参加者が事前に示された不変の契約規則に沿って他者を支援し、システムが条件、状態、計算指標、操作履歴を記録します。

Atlasは銀行、投資ファンド、ブローカー、運用会社、返金保証の決済システム、信託運用サービスではありません。参加者は、チームが取引、投資、採掘、ステーキングなどで利益を得て返すことを約束する目的で資金を預けるわけではありません。

参加者はデジタルシステムと契約基盤を使い、利用可能なSmart Cycleを選び、条件を学び、自ら判断して自発的に作成します。システムは公開規則に従い条件を記録し、指標を計算し、状態を表示し、Claim条件が整えば該当操作を可能にします。

理念は会社活動からの収入約束ではなく、相互支援規則への透明な参加です。Atlasは不透明な物語を誠実な構造に置き換え、操作の結果、サイクル条件、リスク、事前保証できない理由を参加者が理解できるようにします。

法人：ATLAS SYSTEM WEB3 PTY LTD、ACN 701 573 524、New South Wales, Australia。2026年8月19日登記。証明書とASIC公式検索：atlas-system.global/ja/documents/。会社登記だけでは金融ライセンスを証明しません。

8.2 サイクル作成は他の参加者への自発的支援

Smart Cycle作成は相互支援システムに加わる自発的行為です。証券の購入、銀行預金の開設、Atlas会社持分の取得、投資運用契約の締結ではありません。

作成時、参加者はモデルの性質を理解したことを確認します。システムと他者の支援に関連する行為であり、後続Claimは個別ルール、システム状態、流動性、参加者活動、技術稼働状況、文書にある要因に依存します。

伝達ではこの原則を正しく表現します。「利息付きで預ける」「利回りを買う」「運用に資金を渡す」「期間終了時に必ず利益を得る」と言ってはいけません。正しくは、公開規則に基づき自発的にSmart Cycleを作り、その範囲でシステムと関われるということです。

画面や文書の試算Deltaは各サイクルの数学的条件です。経済モデルと潜在的試算を理解する助けですが、それ自体でAtlasが投資商品になったり、いかなる場合も結果を支払う保証義務が生じたりするわけではありません。

これは法的だけでなく倫理的にも重要です。Atlasは無リスクの幻想に依存すべきではありません。参加者は試算条件、パートナー基盤、契約透明性という機会と、無保証、システム依存、資金損失の可能性を同時に見るべきです。

8.3 保証の不存在

AtlasはSmart Cycle参加が高リスクであると明示します。チーム、画面、パートナー、講師、他の参加者の誰も、支援の確実な返還、保証Delta、固定収入、安定利回り、特定支払時期、損失なしを約束してはいけません。

保証がないとは以下を意味します：

- 参加結果を事前に約束できない
- 試算Deltaは保証利益ではない
- Claimはサイクル条件、流動性、システム状態に依存し得る
- 画面、サーバー、ウォレット、ブロックチェーン、外部サービスには技術リスクがある
- 接続、取引承認、seed phraseとprivate keyの保管は参加者自身の責任
- 規則、画面、プログラム、新Smart Cycleは発展に伴い変化し得る
- 資金の一部または全部を失う可能性

この立場はExecutive Summaryの金銭的機会と矛盾しません。参加者はリスクと経済的意味の両方を理解すべきなので、Atlasはサイクル条件、潜在Delta、昇格、パートナーの仕組みを示せます。ただし結果の約束ではなく試算モデルとして読む必要があります。

自分を欺かずに判断することが特に重要です。銀行保証、投資契約、規制された金融商品、チームの損失補償義務を求める人にAtlasは適しません。公開規則、試算条件、自発的参加の高リスクWeb3相互支援モデルと理解したうえで、自分のリスク許容度に合うか判断できます。

Atlas Systemは自発的な相互資金支援基盤であり、確実に稼ぐ手段ではありません。透明な規則、自主検証、理解に基づく参加、デジタル相互支援のコミュニティ育成がその意義です。

9. ビジョン

Atlasは高利回りオンライン業界の形式を変える試みとして生まれました。追加の金銭的機会、強いパートナーチーム、国際活動、理解できる経済への需要は強い一方、市場は物語、閉鎖モデル、大言壮語、作為的な法的包装、仕組みを理解する前に消える事業に疲れています。

ビジョンは単にもう一つのSmart Cycleを始めることではありません。参加者が事前に規則と試算を知り、リスクを学び、構成を検証し、銀行商品や保証投資という幻想なしに判断する国際Web3エコシステムを作ることです。

Atlasの枠組みは明確です。Smart Cycleは高リスクの自発的相互資金支援、試算Deltaは経済シナリオで保証ではなく、パートナープログラムは成長を支えるが給与や不労所得ではありません。DAO型手法は個別決定に使えても、現行版の完全DAO分散化を主張しません。

業界の発展には成熟した伝達が必要です。不可能を約束するのでなく、仕組み、試算上の機会、制限、技術構成、管理権限、リスク、規則を正直に示すべきです。Atlasは難しい部分を隠さず、参加前に説明することを標準にしようとしています。

一般参加者にとっての価値は、Smart Cycle、画面、文書、教育、ウェビナー、検証可能データ、国際コミュニティへの分かりやすいアクセスです。リーダーにはさらに、閉鎖のたびゼロから始めず、新サイクル、製品、規則、参加段階が生まれるエコシステム内にチームを築く機会があります。

これはチーム作りで特に重要です。旧モデルでは短命な開始を中心に組織を作り、終了で崩れ、信頼を失い、また新基盤を探し新しい物語を説明して人を集め直します。Atlasは一度きりの事業でなく、リーダー資産、教育、資料、パートナー基盤、コミュニティをサイクル間で維持できる道を目指します。

Smart Cycle 2は現在の中核で、Atlas発展の終点ではありません。後続サイクル、教育、国際コミュニティ、新ツールは参加者経験を生かして発展できます。各新段階の条件と利用可能性は別途公開します。

Atlasは、Web3を流行語でなく実益のために使う例にもなれます。ウォレット接続、取引検証、契約ロジック、個別操作の透明性、公開規則、国際コミュニティ向けデジタル基盤です。同時に、自動化済みの部分と現行版に残る管理機能・チーム責任を正直に認めます。

長期目標は、デジタル相互支援、透明な規則、自主選択を核に世界最大の同志コミュニティを築くことです。金銭的成果の約束や成功保証ではなく発展の方向です。曖昧な約束より明確な規則、単発開始より長期基盤、盲信より自主検証を増やします。

この原則を守ることでAtlasは単なる次の案件ではなく、リスクを理解し機会を見いだし国際Web3相互支援コミュニティを共に築きたい人のための、開かれた厳格で誠実な技術エコシステムという新形式になります。

